

玉井清教授略歴

略歴

- 昭和三四（一九五九）年三月 東京都生まれ
- 昭和五七年三月 慶應義塾大学法学部政治学科卒業
- 昭和五九年三月 慶應義塾大学大学院法学研究科 修士課程修了
- 昭和六一年四月 幾徳工業大学（現、神奈川工科大学）非常勤講師
- 昭和六二年三月 慶應義塾大学大学院法学研究科 博士課程単位取得退学
- 平成元（一九八九）年七月 法学博士
- 平成二年 四月 慶應義塾大学法学部専任講師
- 平成五年 四月 慶應義塾大学法学部助教
- 平成一〇年四月 慶應義塾大学法学部教授

留学

- 平成一二年～一四年 ハーバード大学ライシャワー研究所・イエンチン研究所 客員研究員
- 平成二〇年 台湾中央研究院近代史研究所 訪問研究員
- 平成二四年～二五年 オックスフォード大学ニッサン研究所 訪問研究員

学外活動

日本政治学会

平成三〇年～令和二(二〇二〇)年 理事

日本選挙学会

平成一六年～平成二七年 理事

二〇〇九年度年報編集委員長

日本法政学会

令和四年～ 理事

総務省独立行政法人評価委員会(平和祈念事業特別基金分科会)

平成一七年～平成二五年専門委員

平成二五年～平成二六年分科会長

学内役職

大学通信教育副部長(平成一〇年～一一年)

大学法学部学習指導主任(平成一七年～一九年、平成二五年～二七年)

大学院法学研究科学習指導委員(平成一九年～二二年、平成二七年～令和五年)

大学法学部長補佐(令和元年～五年)

受賞

一九九九年度義塾賞(平成一一年)

桜田会賞(金賞)(平成二六年)

玉井清教授主要業績

一、著書

単著

- 『原敬と立憲政友会』（慶應義塾大学出版会、平成二一年）
『武藤山治と行財政改革 — 普選の選挙ポスターを手掛かりに（國民會館叢書）』（國民會館、平成一八年）
『第一回普選と選挙ポスター — 昭和初頭の選挙運動に関する研究』（慶應義塾大学法学研究会叢書 八五）（慶應義塾大学法学研究会、平成二五年）

編著

- 『戦時日本の国民意識 — 国策グラフ誌『写真週報』とその時代（叢書21COE-CCC 多文化世界における市民意識の動態 三六）』（慶應義塾大学出版会、平成二〇年）
『『写真週報』とその時代（上） — 戦時日本の国民生活』（慶應義塾大学出版会、平成一九年）
『『写真週報』とその時代（下） — 戦時日本の国防・対外意識』（慶應義塾大学出版会、平成二九年）

共編著

中村勝範編著『近代日本政治の諸相』（慶應通信、平成元年）

港区議会史編さん委員会編『港区議会史』（東京都港区議会、平成五年）

大麻唯男伝記研究会編『大麻唯男・伝記編』（桜田会、平成七年）

大麻唯男伝記研究会編『大麻唯男・論文編』（桜田会、平成七年）

大麻唯男伝記研究会編『大麻唯男・談話編』（桜田会、平成七年）

中村勝範編『満州事変の衝撃』（勁草書房、平成八年）

『日本政治の構造と展開——慶應義塾大学法学部政治学科開設百年記念論文集』（慶應義塾大学法学部、平成一〇年）

『戦前日本の政治と市民意識（叢書21COE—CCC 多文化世界における市民意識の動態 九）』（慶應義塾大学出版会、平成一七年）

慶應義塾大学法学部編『慶應の政治学——日本政治——慶應義塾創立一五〇年記念法学部論文集』（慶應義塾大学法学部、平成二〇年）

共著

『NHK知るを楽しむ・歴史に好奇心——いつなぜ日本の選挙制度』（日本放送出版協会、平成二〇年）

二、論文

「赤松克麿のデモクラシー観」（『慶應義塾大学大学院法学研究科論文集』第一九号、昭和五九年）

「新人会と吉野作造」（『慶應義塾大学大学院法学研究科論文集』第二〇号、昭和六〇年）

「原内閣の貴族院工作をめぐる政局運営」（『慶應義塾大学大学院法学研究科論文集』第二四号、昭和六一年）

- 中村勝範・玉井清「寺内内閣期における原・政友会の戦略——解散・総選挙を中心に」〔『法学研究』第六一卷第四号、昭和六三年四月〕
- 「東条内閣の一考察——大麻唯男を中心に」〔『神奈川工科大学研究報告・A・人文社会科学編』（通号第一三号、平成元年三月）
- 「寺内内閣期における政友会の党勢拡張に向けての方策——第三九帝国議会前後期を中心に」（中村勝範編著『近代日本政治の諸相』慶應通信、平成元年）
- 「政友会の寺内内閣に対する牽制と協力——大正七年度政府予算案への対応を中心に」〔『法学研究』第六二卷第九号、平成元年九月〕
- 「戦前期日本における政党政治の盛衰——政治家大麻唯男の履歴への影響」〔『法学研究』第六四卷第四号、平成三年四月〕
- 「第二次大隈内閣下の政友会——原敬総裁就任から第三五帝国議会解散まで」〔『法学研究』第六五卷第一〇号、平成四年一〇月〕
- 「第一二回衆議院議員総選挙と政友会」〔『法学研究』第六六卷第六号、平成五年六月〕
- 「原敬内閣下の小選挙区制成立過程」〔『法学研究』第六八卷第一号、平成七年一月〕
- 「政友会の対外強硬論」（中村勝範編『満州事変の衝撃』勁草書房、平成七年）
- 「第一四回衆議院議員選挙と普通選挙問題——政友会の戦術を中心に」〔『法学研究』第六九卷第一二号、平成八年一二月）
- 「第一四回衆議院議員選挙における政友会の積極方針」〔『法学研究』第七〇卷第一一號、平成九年一二月）
- 「日中戦争下の反英論——天津租界封鎖問題と新聞論調」〔『法学研究』第七三卷第一号、平成一二年一月）
- 「第一回普選と政党の選挙ポスター」〔『法学研究』第七八卷第四号、平成一七年四月）
- 「第一回普選の投票率と有権者の意識——選挙啓蒙活動を中心に」〔『選挙研究』第二二卷、平成一八年二月）

- 「第一回普選と候補者の選挙ポスター」(『法学研究』第八〇巻第二号、平成一九年二月)
- 「戦時日本の英米観に関する一試論——『写真週報』を通じて」(黄自進主編『東亜世界的日本政治社会特徴』中央研究院人文社会科学研究中心・亜太区域研究専題中心、台湾・台北、平成二〇年)
- 「第一六回衆議院議員選挙における中選挙区制導入の影響について」(慶應義塾大学法学部編『慶應の政治学 日本政治——慶應義塾創立一五〇年記念法学部論文集』、平成二〇年)
- 「第一六回衆議院議員選挙に関する一考察——東京選挙区における中選挙区制導入の影響を中心に」(『法学研究』第八二巻第二号、平成二二年二月)
- 「戦時下の台湾」(『法学研究』第八二巻第五号、平成二二年五月)
- 「第一次普選と実業同志会——武藤山治の政治啓蒙活動」(『法学研究』第八三巻第一二号、平成二二年二月)
- 「The Japanese Views of the UK and the US from the Second Sino-Japanese War to the Pacific War」(『Keio Journal of Politics』No.15, 2012)
- 「第一六回総選挙における政党合同の影響について——革新倶楽部系候補者の動向を中心に」(『法学研究』第八五巻第三号、平成二四年三月)
- 「日米戦争下の敵愾心昂揚についての一考察——ガダルカナル島撤退との関連で」(『法学研究』第九二巻第一号、平成三二年一月)
- 「撃ちてし止まむ」の始動」(『法学研究』第九二巻第一二号、令和元年二月)
- 「昭和戦時文壇の苦悩についての一考察——『政治と文学』室生犀星の観察と葛藤を手掛かりにして」(『法学研究』第九三巻第一一号、令和二年一月)
- 「日本文学報国会結成に関する一考察——昭和戦時文壇統合をめぐる迷走について」(『法学研究』第九四巻第九号、令和三年九月)
- 「日米開戦後における詩歌の動員と競合」(『法学研究』第九四巻第一〇号、令和三年一〇月)

- 「日中戦争をめぐる反英米論の展開」（筒井清忠編著『昭和史研究の最前線——大衆・軍部・マスコミ、戦争への道——朝日新書 八八九』朝日新聞出版、令和四年）
- 「佐藤春夫に見る幸徳事件の影響について——反発と恐懼を中心に」（『法学研究』第九六卷第二号、令和五年二月）
- 「佐藤春夫に見る社会批評への模索——大杉栄回想を糸口にして」（『法学研究』第九六卷第四号、令和五年四月）

三、その他の著作

- 「総説」「イギリス」（中村勝範編『各国政治制度概論』（慶應通信、平成二年））
- 「日本政治史研究の問題点ファシズム論争に関連して」（『三色旗』第五一三号、平成二年十二月）
- 「第一次世界大戦下の日中問題」（『問題と研究』第二二卷第九号、平成四年六月）
- 「『積ん読』の勧め」（『三色旗』第五六一号、平成六年十二月）
- 「原敬雑感」（『三田評論』第八八卷第三号、平成七年一〇月）
- 「近代日本における官僚の政党化」（『三色旗』第六〇四号、平成一〇年七月）
- 「日米開戦の起源」（『三色旗』第六一六号、平成一一年七月）
- 「鼎談 国家の果たすべき役割について 第一回〜第四回」（『三色旗』第六一五号〜第六一八号、平成一一年六月〜九月）
- 「人間通」の原敬」（『大学出版』第四二号、平成一二年七月）
- 「この英国人を見よ」（『而今』第三三二号、平成二四年二月一日）
- 「ヒーローという言葉——イギリス留学記」（『而今』第三三七号、平成二四年四月一六日）
- 「誇り高き英国人」（『而今』第三三八号、平成二四年五月一日）
- 「英国人の矜持」（『而今』第三四三号、平成二四年七月一六日）

「海ゆかば」第一講」（『而今』第三八二号、平成二六年三月一日）

「海ゆかば」二講」（『而今』第三八三号、平成二六年三月一六日）

「海ゆかば」講（三・完）」（『而今』第三八四号、平成二六年四月一日）

「戦後七〇周年の首相談話について」（『而今』第四一〇号、平成二七年五月一六日）

「執筆ノート『写真週報』とその時代（上・下）」（『三田評論』第二二六号、平成二九年一月）

「選挙は近代日本に何をもたらしたのか？」（『三色旗』第八二三号、令和元年四月）

「少子高齢化時代の新たななる大学像を求めて——慶應コンシエルジュ構想の提言」（『法学研究』第九二卷一二号、令和元年二月）

「近代日本における選挙啓蒙活動」（『Voters』第五八号、令和二年一〇月）

「大学とは役に立たないことを学ぶ場である」（『三色旗』第八五〇号、令和五年一〇月）

「資料 第一回普選の選挙ポスター、ピラ、推薦状」（『法学研究』第九六卷第九号、令和五年九月）

四、研究報告

「翼賛選挙における旧政党人と新人」（日本選挙学会研究大会、平成二五年五月）

「原内閣の小選挙区制導入過程」（日本選挙学会研究大会、平成七年五月）

「大正デモクラシーと政党政治 原敬内閣の選挙戦略と普通選挙問題」（日本政治学会研究会大会、平成九年一〇月）

「第一回普選下の選挙運動 選挙ポスター研究序説」（慶應義塾大学21COECCC国際シンポジウム、平成一六年三月）

「第一回普選下の選挙運動 選挙ポスターを中心に」（日本選挙学会研究大会、平成一七年五月）

「第一回普選の候補者ポスターから見た選挙民の意識」（慶應義塾大学21COECCC国際シンポジウム、平成一八年

- 年十一月)
- 「近代日本における原敬」(原敬記念館・原敬を想う会、平成一九年六月)
- 「戦時日本の英米観に関する一試論——『写真週報』を通じて」(中央研究院人文社会科学研究中心 台湾・台北、平成二〇年)
- 「『写真週報』にみる戦時日本の対英米観とその変容」(二〇〇八年度日本政治学会研究会、平成二〇年一〇月)
- “The Japanese views of the UK and the US from the Second Sino-Japanese War and the Pacific War: Focus on the Photographic Weekly Magazine, ‘Shashinshu’” (Graduate Research Seminar 17 May 2012 at Oxford University)
- 「近代日本と原敬・政治に生きたその生涯」(青雲塾・中曾根康弘世界平和研究所、平成二七年九月)
- “What can we learn from Japanese election campaigns?: The History, Society and Culture of Japan” (The History of Japanese Election Campaigns—Political society and culture of Japan”, The 15th Korea-Japan Millennium Forum on 25 and 26 Oct. 2016 at Keio University)
- 「戦時下日本の「鬼畜米英」論・再考—敵はどう描かれたのか。」(国際シンポジウム: ‘The Thirteenth Annual International Conference on the History of Cultural Exchange: War, Refugees, and Recovery’ 台湾・輔仁大学、平成二九年十一月)
- 「戦時標語「鬼畜米英」についての一考察——「撃ちてし止まむ」とその時代」(日本法政学会、令和五年一二月)